

## 赤城：赤城山周回

- ◆日程 2021年4月3日(土)
- ◆メンバー L: OT
- ◆天候 曇

二度目の緊急事態宣言解除を機に山行を再開して二回目。前回(3月24日)は丹沢だったので行ったことが無い所へ遠征したくなった。赤城山なら日帰りできて、ショートからロングまで豊富に選択できる。どうせ車で行くなら早出して周回コースを目指すことにした。



予報は晴れだったが、下界も山も雲に覆われている。本降りではないようなので、歩いているうちに回復することを期待してスタート。

まずは主峰の黒檜山。いきなりの急登で汗が噴き出すが、高度差は500m程なので辛抱だ。高度1700m辺りで、ルート上に踏み固められた雪が現れる。滑り止めを付けるほどではない。頂上付近は岩と雪とぬかるみが交互に現れる。曇が厚く、見事だと称される眺望は全くなし。軽く腹を満たしたら

長居は無用とばかりに次の駒ヶ岳(1685m)に。観光地的な山でもシーズン前だからか山頂は人気無く、密を避けるには丁度良い。下山路と縦走ルートの分岐から先はルートが細く幻想的。この天候では景観は期待できないため、小沼を囲む小地蔵山と長七郎山は省略して地蔵岳(1674m)へ。地蔵岳直前も急登だ。山頂は今回登頂したどのピークよりも開けており風が吹きつける。冷える前にエネルギー補給して次へ。下降した先にビジターセンターがあるが、今日は営業しておらず、トイレも閉鎖されている。次の鈴ヶ岳へのアプローチは、本日登った中では最も長い。途中のナイフリッジもある稜線上の鍬柄山(1562m)を経てようやく姿を現す。山頂までは岩場の急登だ。200mに満たない高低差で、大倉尾根よりも楽なはずなのに、アップダウンを繰り返したうえでの急登は思いのほか応える。鈴ヶ岳(1564.7m)からは大沼に戻るにも距離がある。一旦沢筋まで下ってから再び縦走路を登り返さなければ下山路にも出られない。



地形図では緩やかな登りでも、脚には十分効いている。ところが、いざ下山路への分岐まで来てみると、ここで降りるのが惜しくなり縦走路を選択。3つの小ピークを経由して「五輪峠」から下山した。

再開2回目とは言え、3ヶ月超のブランクは思っていたより大きい。普段からランニングなどしていたが、山向けの体作りは山に限る。(記: OT)

CT: 自宅 4:15 = (車) = 黒檜山登山口駐車場 7:50 - 黒檜山 8:50/9:05 - 駒ヶ岳 9:30 - 地蔵岳 10:55/11:15 - 鍬柄山 12:20/12:30 - 鈴ヶ岳 13:00/13:20 - 出張山 14:40 - 薬師岳 15:00 - 陣笠山 15:14 - 駐車場 15:27 = (車) = 自宅